



多幸願う心 表現いかようにも

男鹿水族館 イカ・タコ墨で書き初め



イカとタコの墨で書き初めをする正月恒例の催しが1～3日、男鹿市の男鹿水族館GAOで開かれた。

2日は約70人が参加。「試験満点」「合格」などと目標をしたためる人や、「新春」や「希」といった字に願いを込める人、思い思いの墨絵を描く子どもたちでにぎわった。

クラゲやイカの絵を描いた秋田市の幼稚園児、東海林恒輝君(5)は「楽しかった。4月から小学生なので、格好よくになりたい」と話した。

イカ墨はタコ墨に比べて粘り気が強いことなど、職員から説明を受けて書き比べる来館者もいた。

3日も約60人が訪れ、筆を走らせた。

イカ墨を使い、力強い筆遣いで絵を描く子どもたち

小学3年生以上のみなさんは、市販の墨液で毛筆の書き初めに挑戦したことと思います。

イカ墨は、現在ではパスタやパエリアなどの調理に使われますが、かつては絵の具やインクとして使われ、セピア色の語

出題者から

源にもなっているそうです。

水族館ならではの、イカやタコの墨を使った書き初めはとても楽しそうですね。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・仙台市七北田小教諭 今藤正彦)

問題

①男鹿水族館では、書き初めに何の墨を使っていますか。二つ書きましょう。
() 墨と () 墨

②この記事の見出しには、どんな工夫がありますか。見出しの言葉を使って説明しましょう。
()

(小学3年生以上／国語、家庭学習など)